

県内の景気動向

概況（2025年4月）

景気は、緩やかに拡大している（20カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、底堅い消費マインドと観光需要の継続により、回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2カ月ぶりに前年を上回った。人気の高い物産催事や会員限定企画による集客効果に加え、外国客の増加に伴う免税売上の増加などが売上を押し上げた。スーパー売上高は、値上げによる単価上昇などにより既存店・全店ベースともに35カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響がみられた前年同月の反動増などにより5カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（3月）は、20カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（3月）は、非居住用は減少したが、居住用は増加したことから8カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（3月）は、給与は着工が無かったが、持家、貸家、分譲は増加したことから5カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに2カ月連続で前年を上回った。鋼材売上高は2カ月連続で前年を上回り、木材売上高は8カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、41カ月連続で前年を上回った。国内客は10カ月連続で増加し、外国客は31カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は13カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに11カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は38カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は4カ月連続で減少し、売上高は5カ月連続で前年を上回った。春休みシーズンや大型連休の旅行需要により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズンに向けた国内客の旅行需要の高まりが予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 1.9%増と 8 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加した。有効求人倍率（季調値）は 1.10 倍で、前月から 0.02 ポイント上昇した。完全失業率（季調値）は 3.9%と、前月から 0.8 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 4.1%の上昇となり、44 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 4.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 3.5%の上昇となった。

倒産件数は 10 件で前年同月から 7 件増加した。負債総額は 5 億 3,500 万円で、前年同月比 184.6%増となった。

りゅうぎん調査（2025年4月）

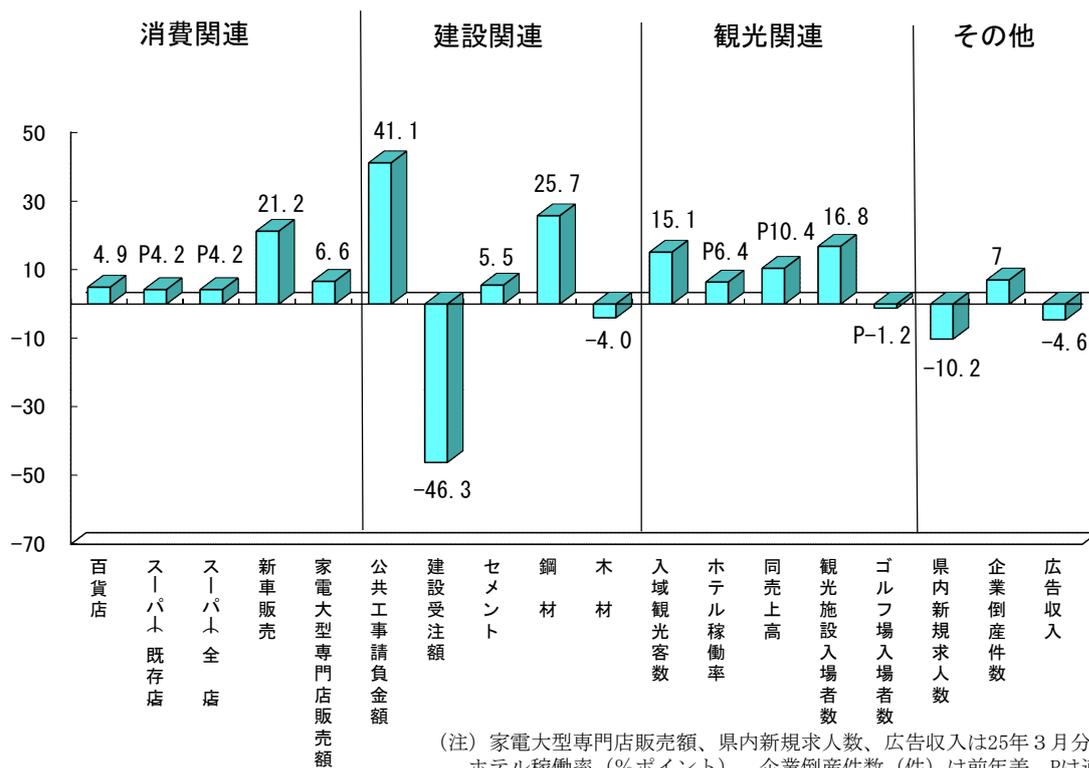
	前年同月比		前年同期比 (2025.2－2025.4)	
1. 消費関連				
(1) 百貨店(金額)		4.9		2.5
(2) スーパー(既存店)(金額)	P	4.2	P	3.0
(3) スーパー(全店)(金額)	P	4.2	P	3.5
(4) 新車販売(台数)		21.2		28.1
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(3月)	6.6	(1-3月)	6.7
2. 建設関連				
(1) 公共工事請負金額(金額)		41.1		30.9
(2) 建築着工床面積(m ²)	(3月)	17.0	(1-3月)	0.3
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(3月)	81.0	(1-3月)	11.5
(4) 建設受注額(金額)		▲ 46.3		▲ 36.1
(5) セメント(トン数)		5.5		4.6
(6) 生コン(m ³)		7.7		0.8
(7) 鋼材(金額)		25.7		8.0
(8) 木材(金額)		▲ 4.0		▲ 7.6
3. 観光関連				
(1) 入域観光客数(人数)		15.1		10.5
うち外国客数(人数)		68.2		36.7
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P	6.4	(前年同期差) P	7.2
	(実数) P	66.4	(実数) P	66.8
(3) " 売上高(金額)	P	10.4	P	9.7
(4) 観光施設入場者数(人数)		16.8		15.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	P	▲ 1.2	P	▲ 4.0
(6) " 売上高(金額)	P	2.4	P	3.2
4. その他				
(1) 県内新規求人数(人数)		1.9		▲ 6.6
(2) 有効求人倍率(季調値)		1.10		1.08
(3) 消費者物価指数(総合)		4.1		4.4
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差)	7	(前年同期差)	4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(3月)	▲ 4.6	(1-3月)	▲ 0.4

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

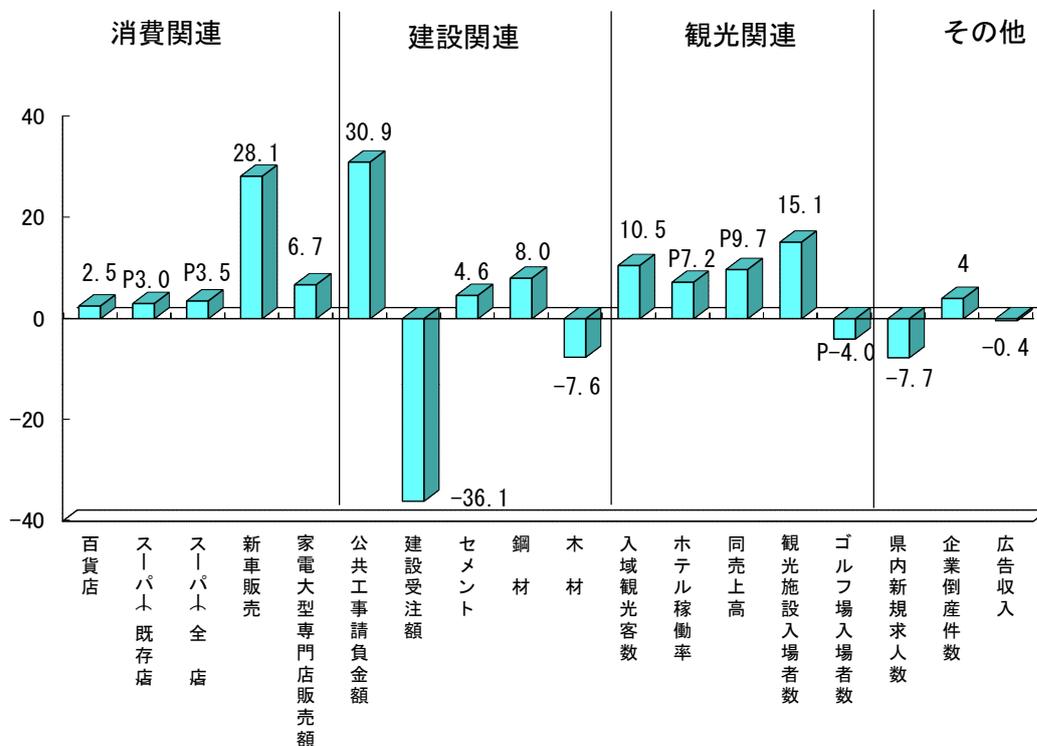
(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2025年4月)



(注) 家電大型専門店販売額、県内新規求人数、広告収入は25年3月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

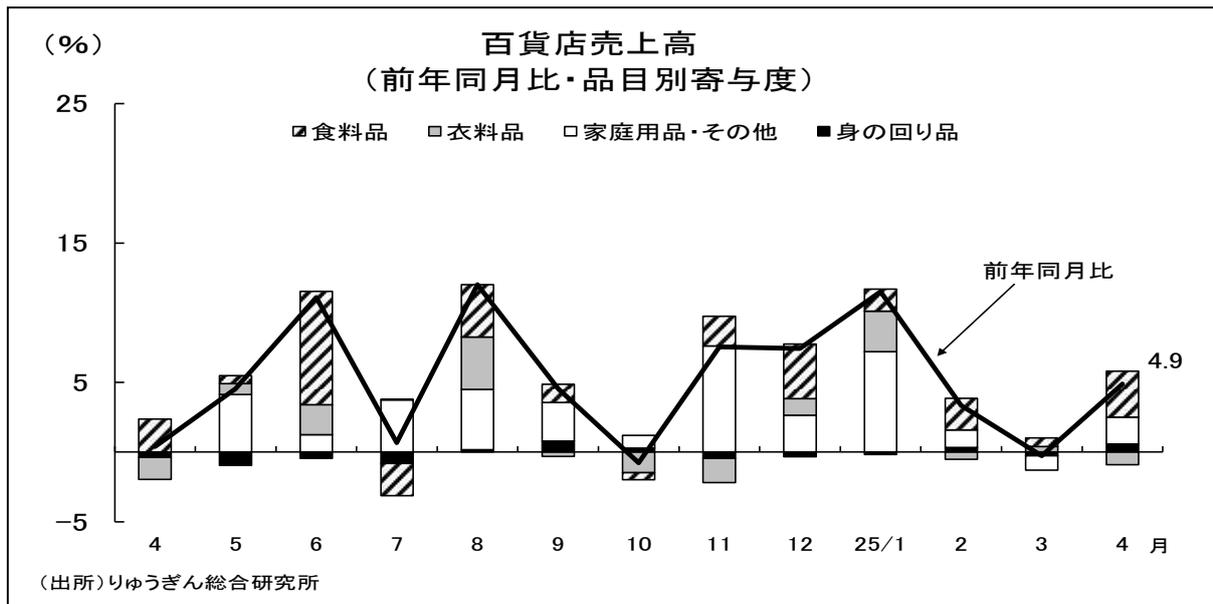
項目別グラフ(3カ月、2025年2月～2025年4月)



(注) 家電大型専門店販売額、県内新規求人数、広告収入は25年1月～25年3月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

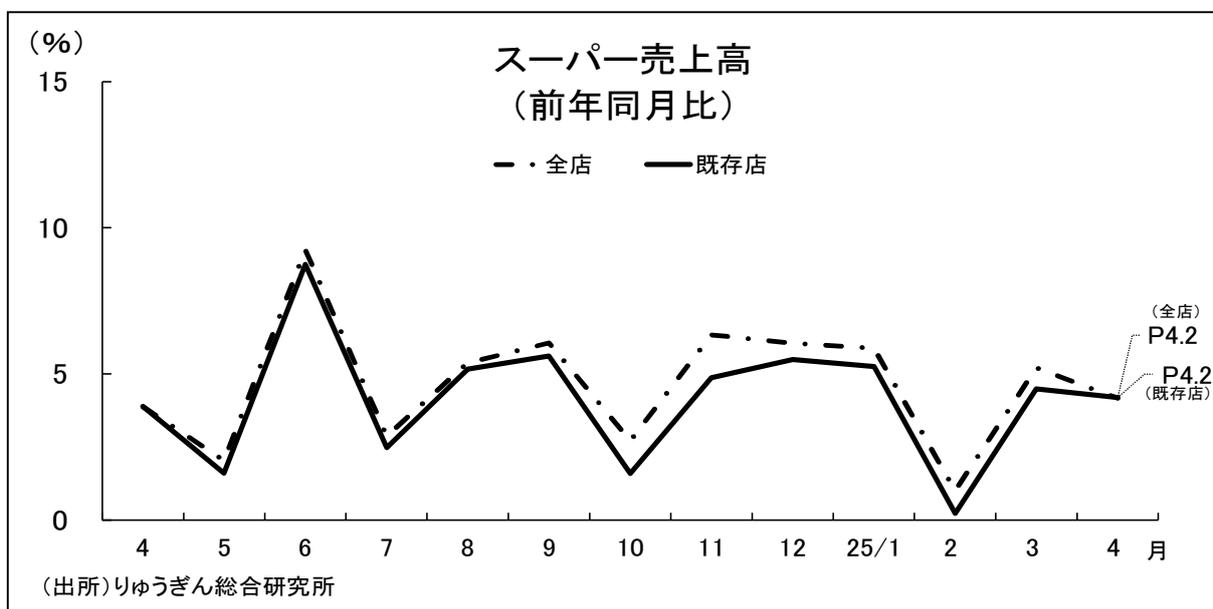
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



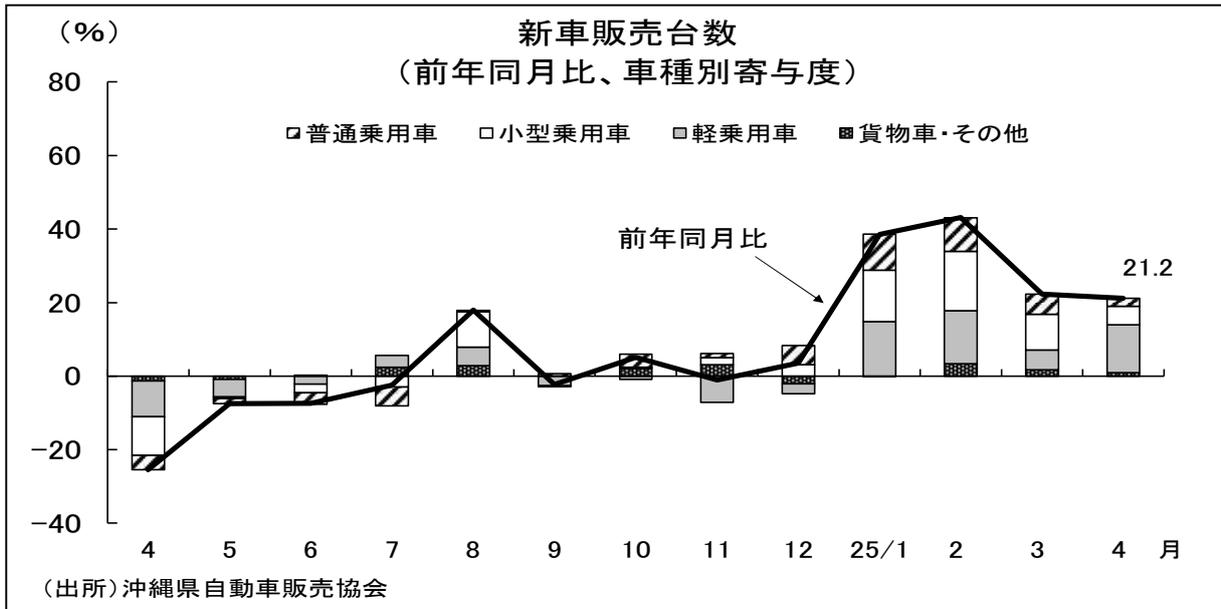
- 百貨店売上高は、前年同月比 4.9%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 平均気温が低く春夏物衣料が鈍化したものの、人気の高い物産催事や会員限定企画による集客効果がみられたほか、外国客の増加に伴う免税売上の増加などもあり好調に推移した。
- 品目別にみると、食料品が同 9.9%増、家庭用品・その他が同 6.6%増、身の回り品が同 9.6%増、衣料品が同 2.9%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 35 カ月連続で増加



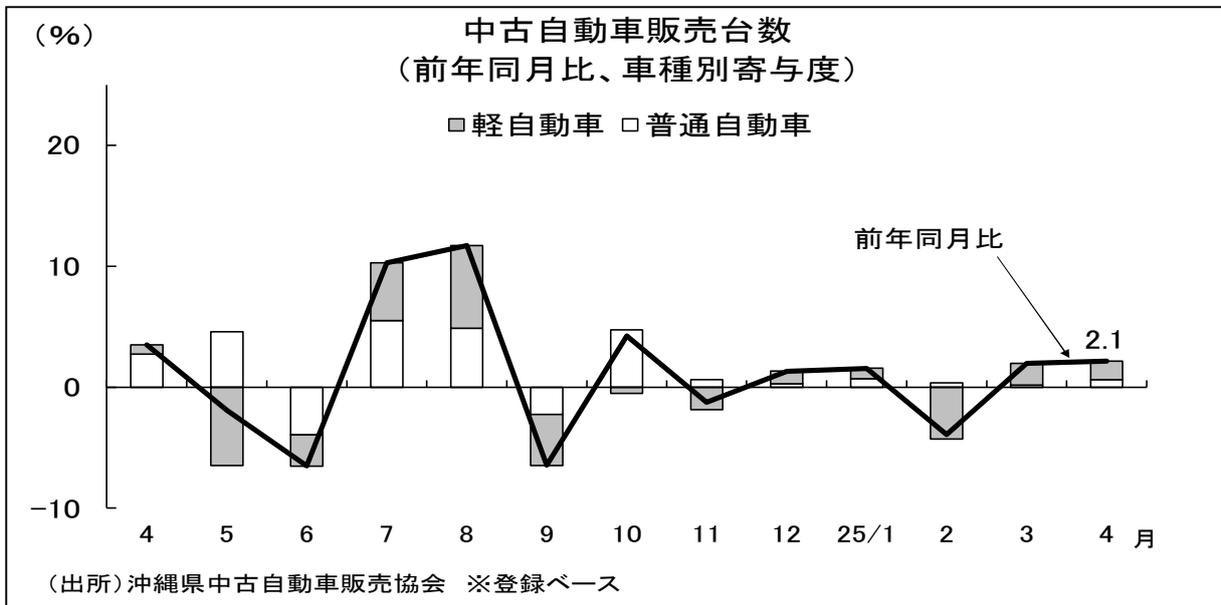
- スーパー売上高 (速報値) は、既存店ベースは前年同月比 4.2%増と 35 カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、節約志向の継続から買上点数は減少傾向にあるものの、値上げによる単価上昇などにより同 5.9%増となった。衣料品は、平均気温が低くかりゆしウェアをはじめとする春夏物衣料が鈍化したことなどから同 1.3%減、住居関連は同 1.9%減となった。
- 全店ベースは同 4.2%増と 35 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：5カ月連続で増加



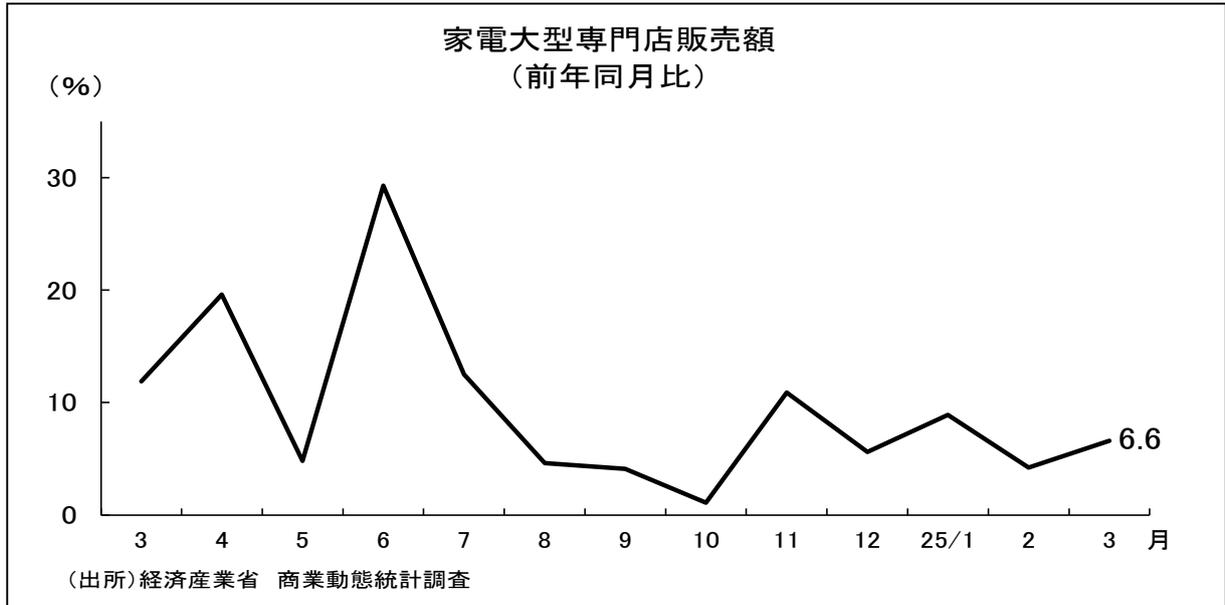
- 新車販売台数は3,858台で前年同月比21.2%増と、5カ月連続で前年を上回った。
- 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が色濃くみられた前年同月の反動増などにより前年を上回った。
- 車種別にみると、普通自動車（登録車）は2,121台（前年同月比12.2%増）で、うち普通乗用車は950台（同7.7%増）、小型乗用車は1,017台（同18.9%増）であった。軽自動車（届出車）は1,737台（同34.3%増）で、うち軽乗用車は1,346台（同44.3%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月連続で増加



- 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、2万195台で前年同月比2.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 内訳では、普通自動車が7,553台（前年同月比1.7%増）、軽自動車が1万2,642台（同2.4%増）となった。

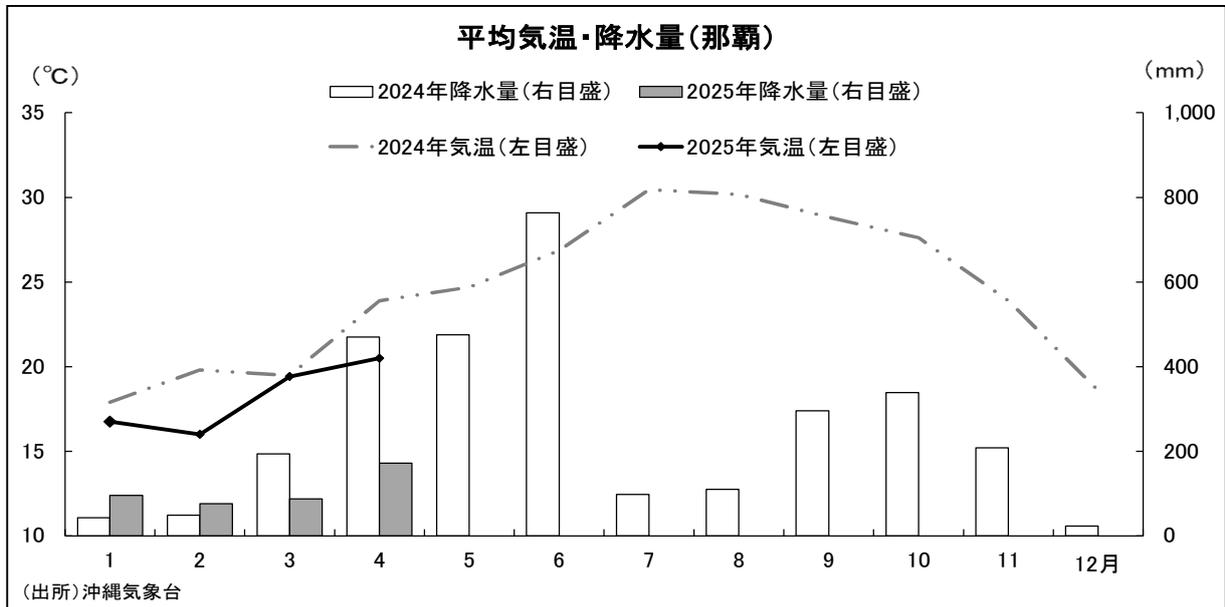
(5) 家電大型専門店販売額：20カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（3月）は、前年同月比6.6%増と20カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇に加え、新生活準備に伴いエアコンなどの白物家電を中心に売上が増加した。

(参考)

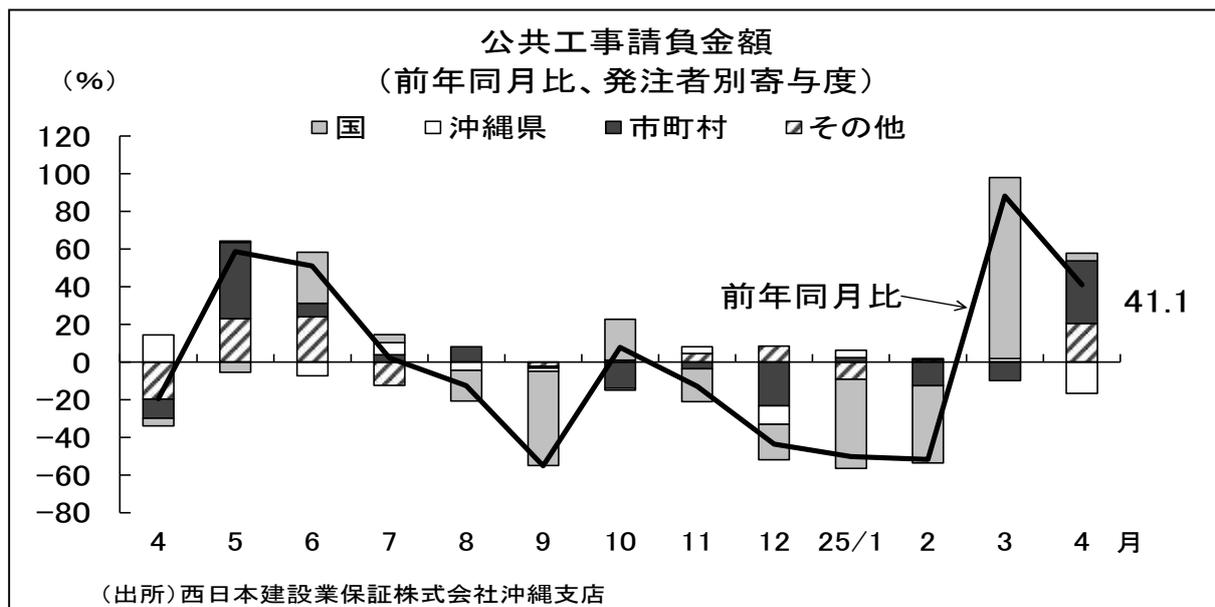
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は20.5°Cで前年同月(23.9°C)より低く、降水量は170.0mmで前年同月(470.5mm)より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所もあった。
- ・ 平均気温は平年より低く、降水量は平年並み、日照時間は平年より多かった。

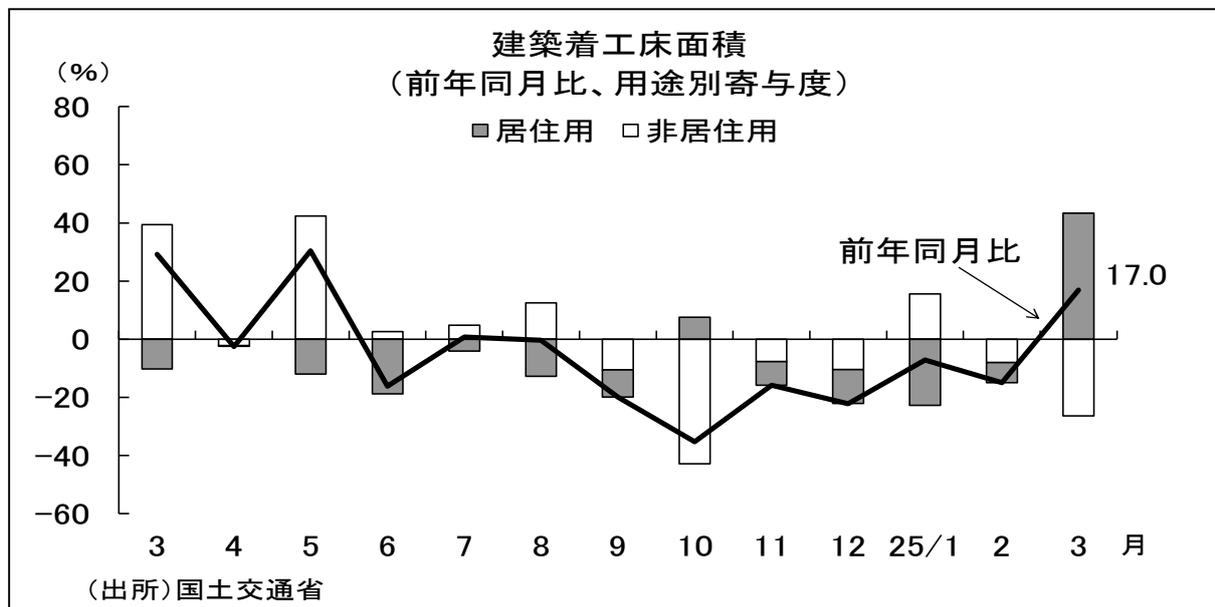
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



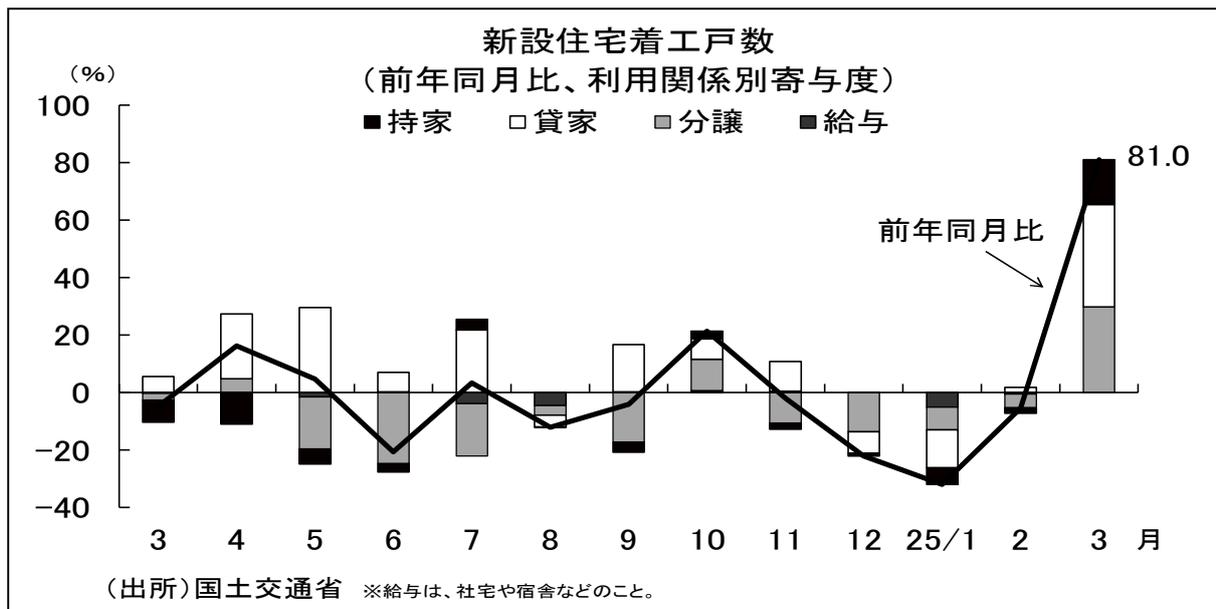
- 公共工事請負金額は、200億78百万円で前年同月比41.1%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国は同38.2%増、市町村は同189.8%増、独立行政法人等・その他は同323.6%増となり、県は同25.4%減となった。

(2) 建築着工床面積：8カ月ぶりに増加



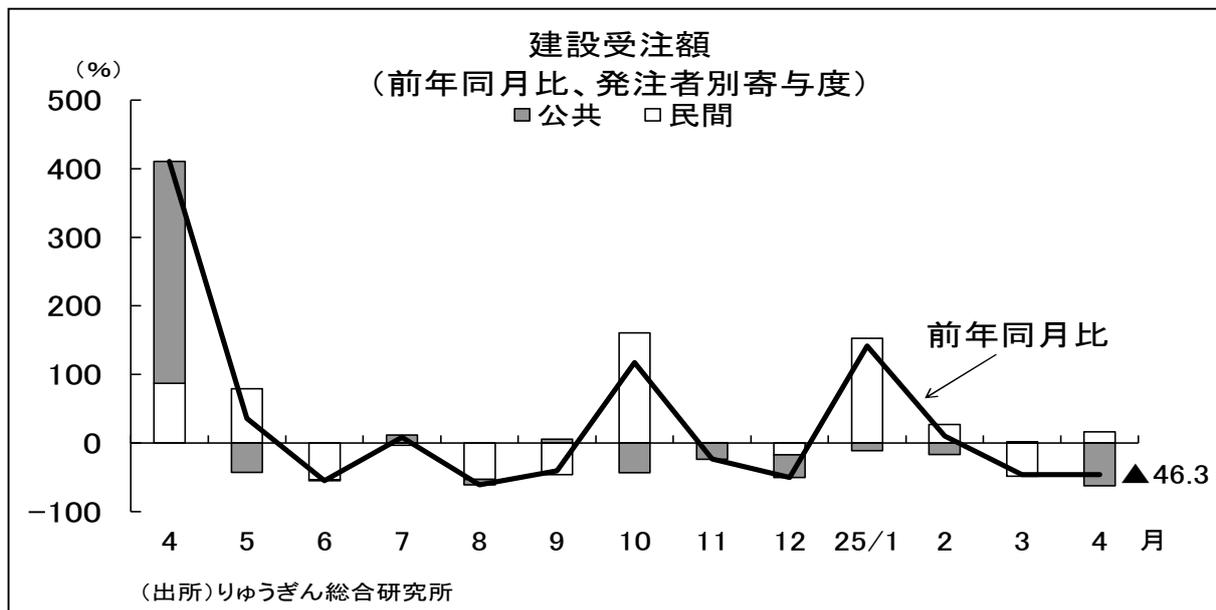
- 建築着工床面積（3月）は12万1,174㎡で前年同月比17.0%増と8カ月ぶりに前年を上回った。居住用は同84.9%増となり、非居住用は同54.0%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、製造業用などが増加し、教育・学習支援業用、卸売・小売業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：5カ月ぶりに増加



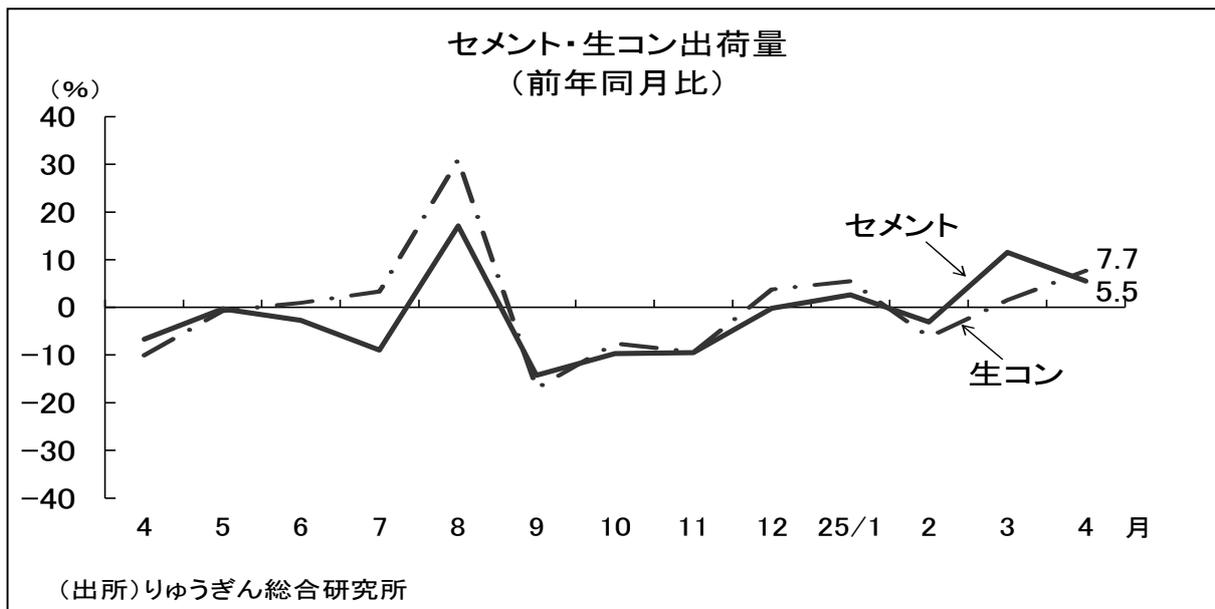
- ・ 新設住宅着工戸数（3月）は1,155戸で前年同月比81.0%増と5カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（242戸）が同69.2%増、貸家（510戸）が同80.9%増、分譲（403戸）が同89.2%増となり、給与（0戸）は前年同月に引き続き着工は無かった。

(4) 建設受注額：2カ月連続で減少



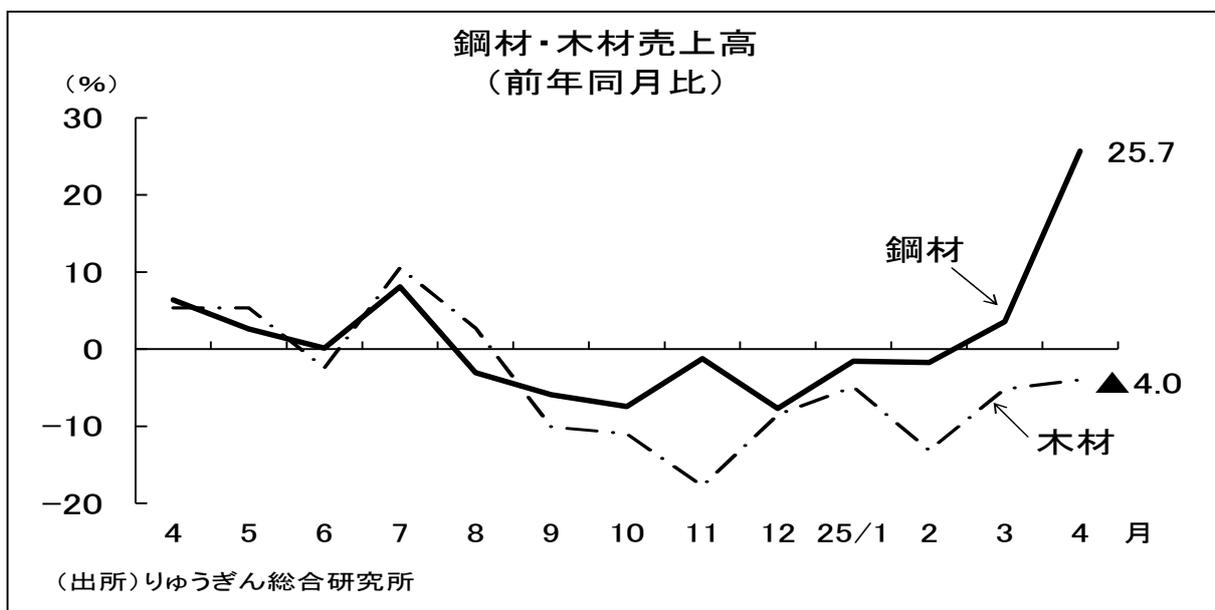
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比46.3%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同96.1%減と2カ月ぶりに減少し、民間工事は同46.3%増と2カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに2カ月連続で増加



- ・ セメント出荷量は6万4,035トンとなり、前年同月比5.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は10万2,637m³で同7.7%増と2カ月連続で前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向け、橋梁関連向けなどが増加し、公共施設向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向け、共同住宅向けなどが増加し、マンション向けなどが減少した。

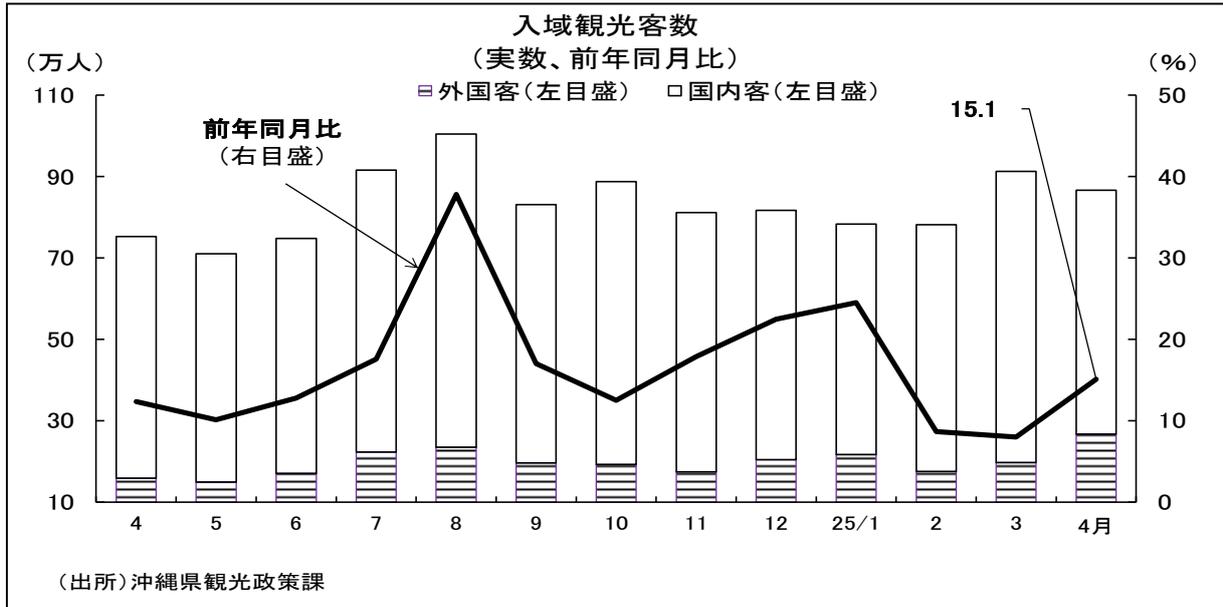
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月連続で増加、木材は8カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、鋼材価格は下落するも、出荷量が増加したことなどから前年同月比25.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したこと、木材価格が下落したことなどから同4.0%減と8カ月連続で前年を下回った。

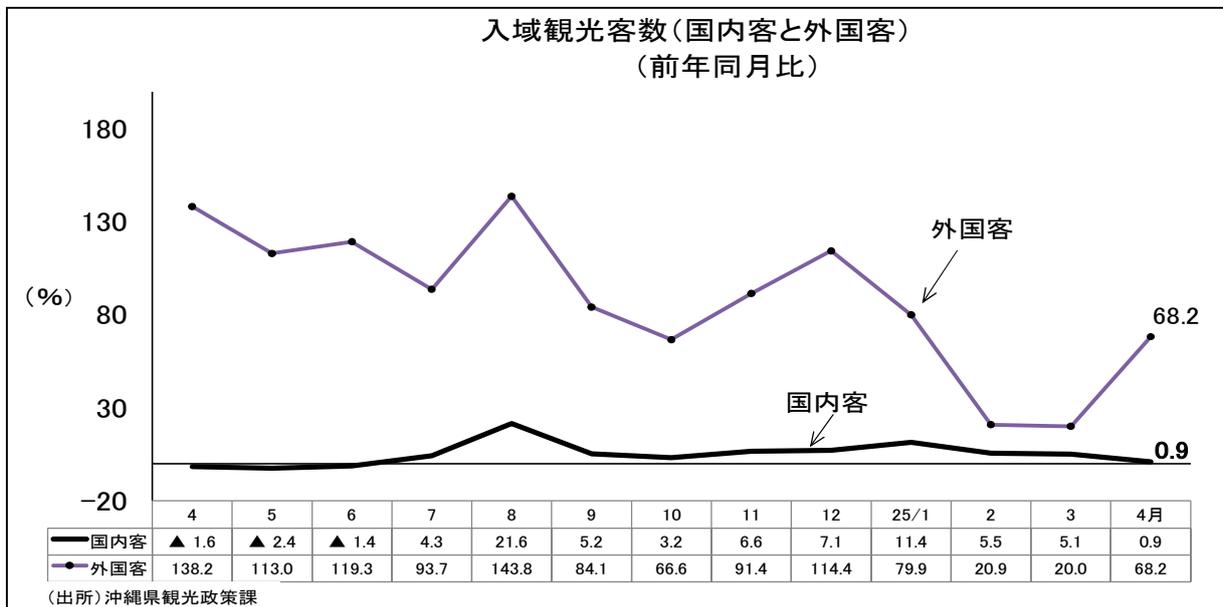
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：41カ月連続で増加



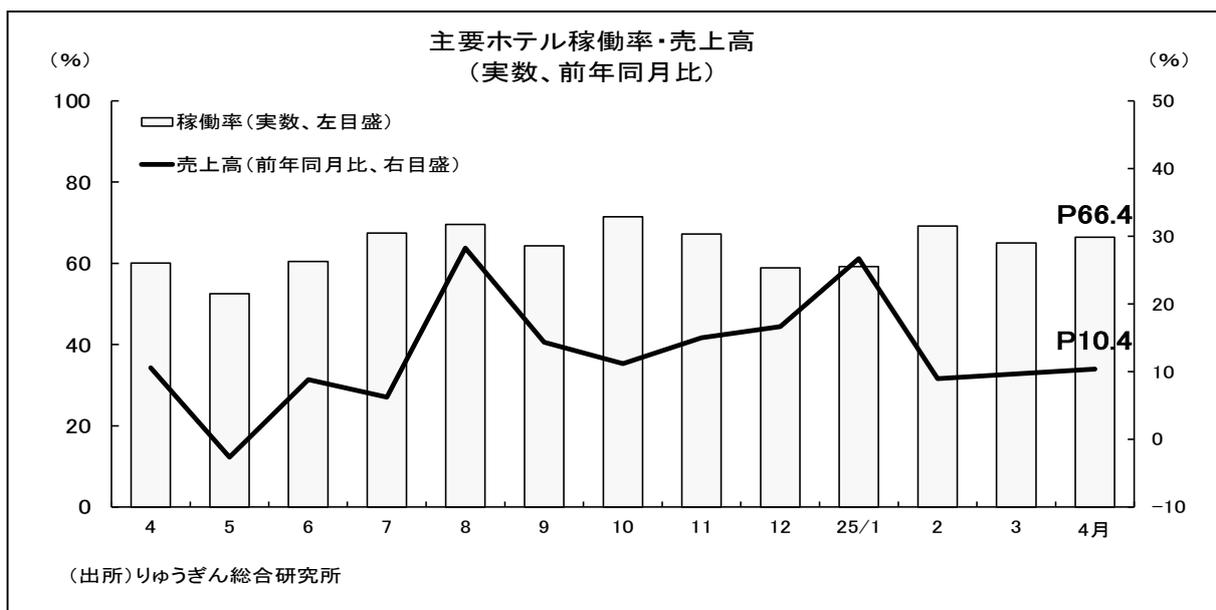
- 入域観光客数は、86万5,800人（前年同月比15.1%増）となり、41カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は76万5,000人（同10.0%増）となり41カ月連続で前年を上回った。海路は10万800人（同77.8%増）となり3カ月ぶりに前年を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は10カ月連続で増加、外国客は31カ月連続で増加



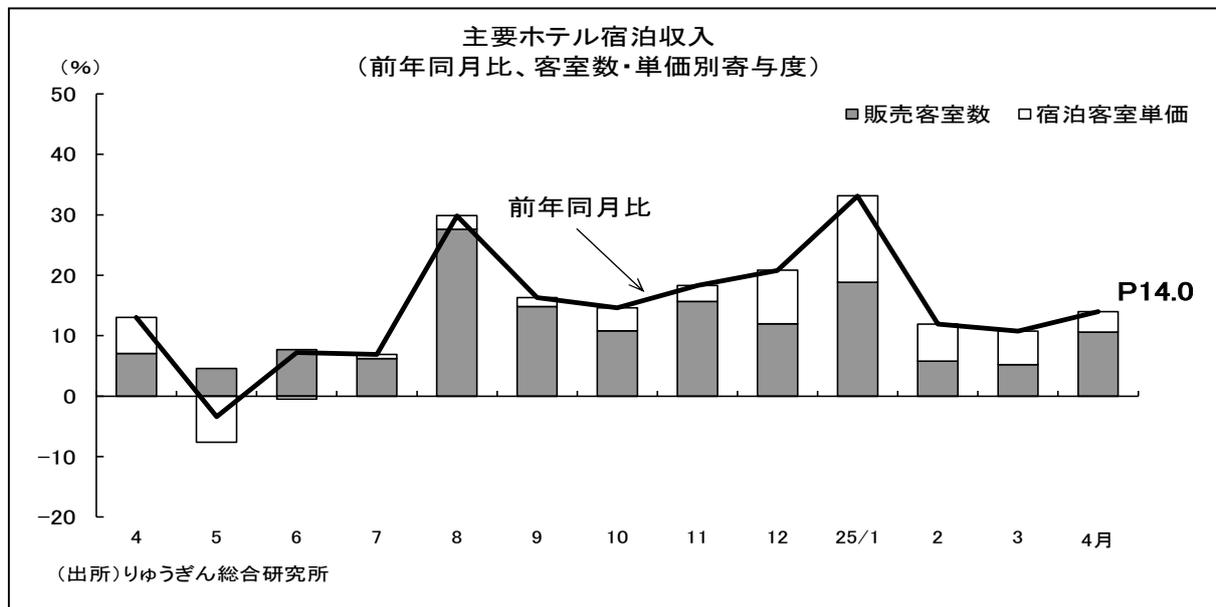
- 国内客は、59万8,500人（前年同月比0.9%増）となり、10カ月連続で前年を上回った。外国客は26万7,300人（同68.2%増）となり、31カ月連続で増加した。
- 大型連休により航空会社の増便などがあり、好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は13カ月連続で上昇、売上高は11カ月連続で増加



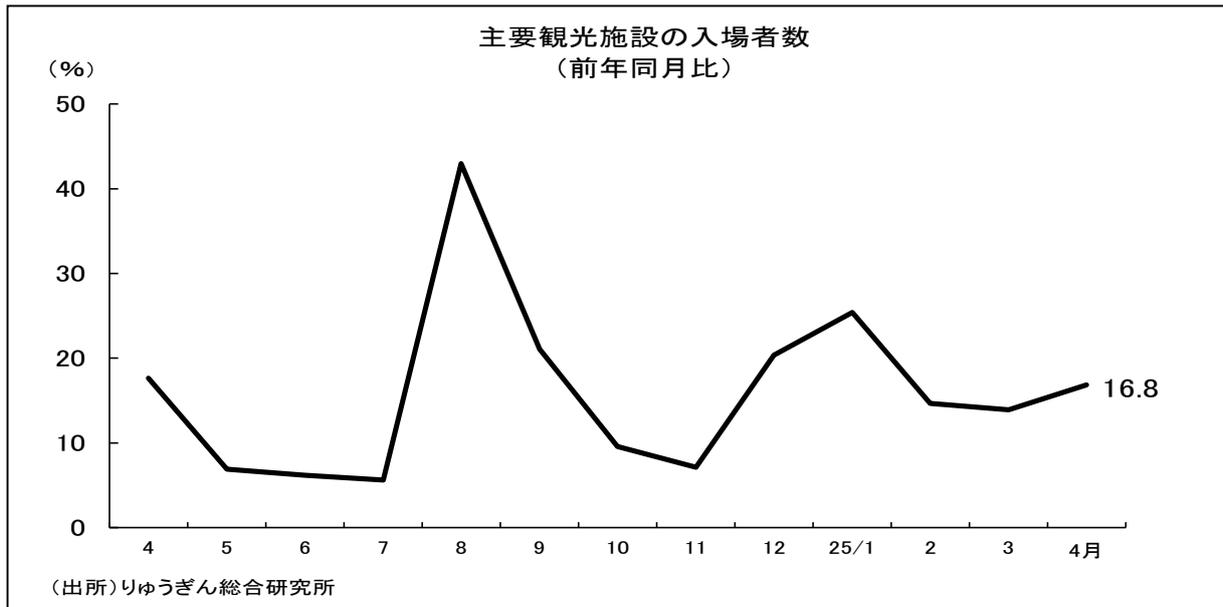
- ・ 主要ホテルの客室稼働率（速報値）は66.4%と前年同月差6.4%ポイント上昇し13カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比10.4%増となり、11カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は73.5%と同10.0%ポイント上昇し、16カ月連続で前年を上回り、売上高は同19.1%増と17カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率（速報値）は63.8%と同5.0%ポイント上昇し13カ月連続で前年を上回り、売上高は同8.8%増と11カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：11カ月連続で増加



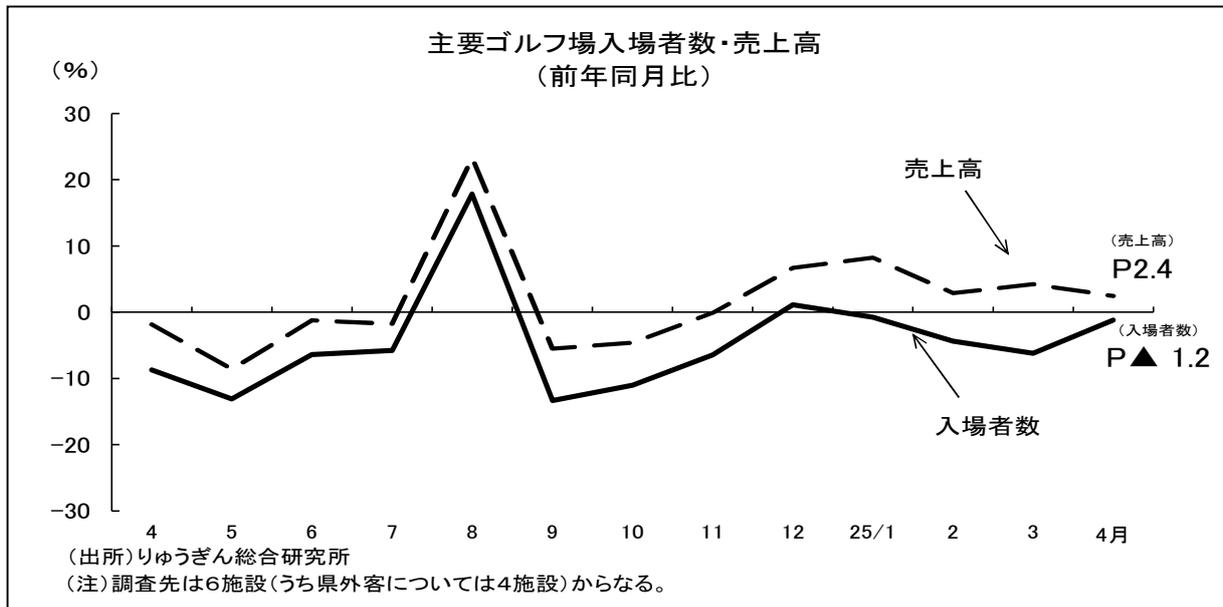
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入（速報値）は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比14.0%増と11カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同27.6%増となり16カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同11.4%増となり11カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：38 カ月連続で増加



- 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 16.8%増と 38 カ月連続で前年を上回った。
- 春休みシーズンに伴う個人・グループ旅行、一般団体客やクルーズ客等の来訪が増え、好調に推移した。

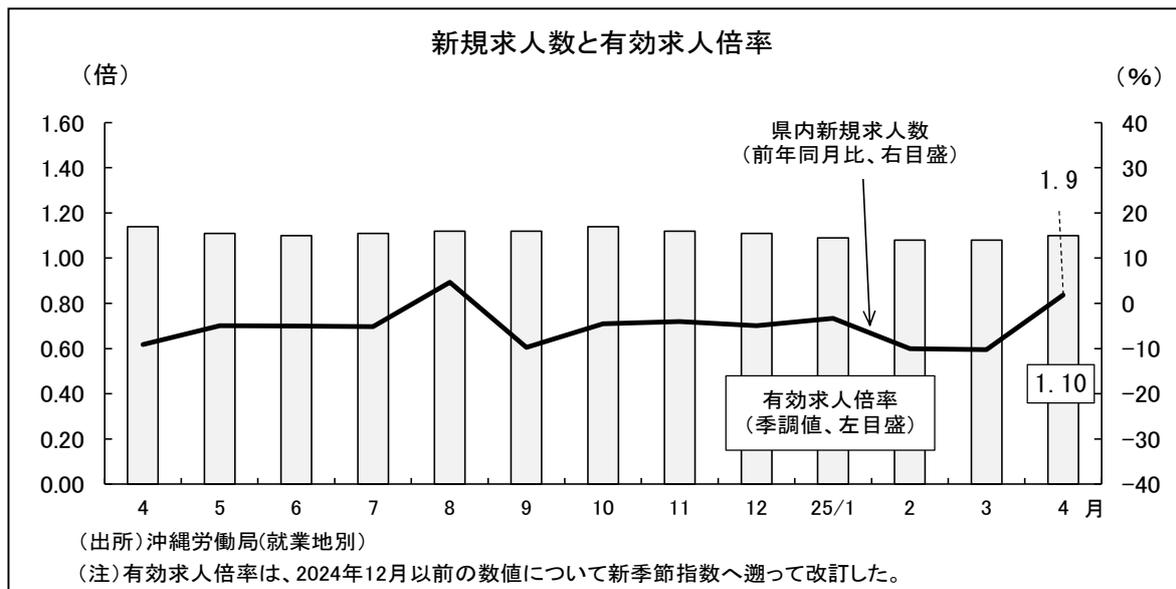
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は4 カ月連続で減少、売上高は5 カ月連続増加



- 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 1.2%減と 4 カ月連続で前年を下回った。県内客は 8 カ月連続で前年を下回り、県外客は 2 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 2.4%増と 5 カ月連続で前年を上回った。
- 入場者は値上げの影響による県内客の減少が継続し、全体としても減少した。ただ売上単価の上昇が売上の増加に寄与した。

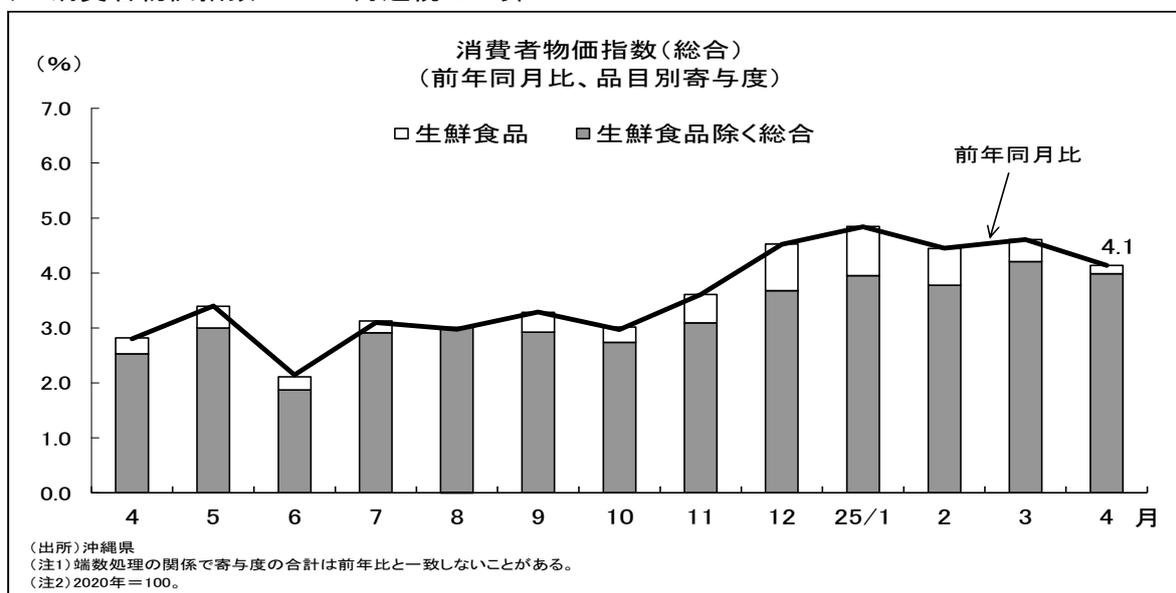
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



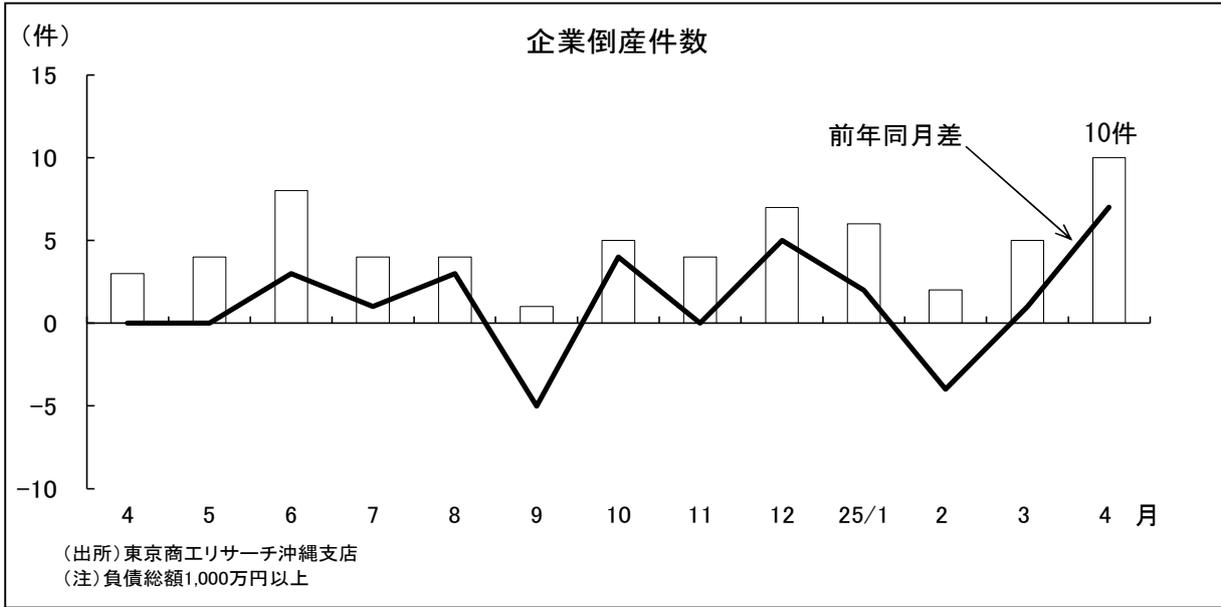
- 新規求人数は、前年同月比 1.9%増となり 8 カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加した。有効求人倍率（季調値）は 1.10 倍で、前月から 0.02 ポイント上昇した。
- 労働力人口は、80 万 1,000 人で同 0.9%増となり、就業者数は、76 万 8,000 人で同 0.7%増となった。完全失業者数は 3 万 3,000 人で同 6.5%増となり、完全失業率（季調値）は 3.9%と、前月より 0.8 ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数：44 カ月連続で上昇



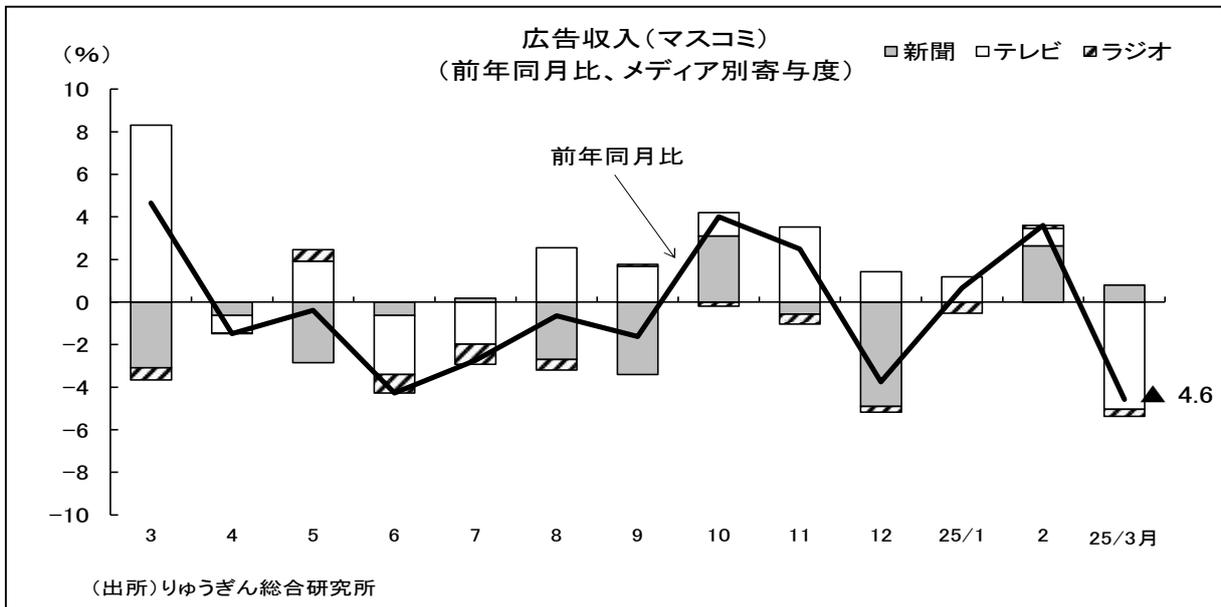
- 消費者物価指数は、前年同月比 4.1%の上昇となり、44 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 4.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 3.5%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、光熱・水道などで上昇した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は10件で前年同月から7件増加した。業種別では、建設業が2件、製造業が1件、小売業が1件、サービス業他が6件となった。
- ・ 負債総額は5億3,500万円で、前年同月比184.6%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：3カ月ぶりに減少



- ・ 広告収入（マスコミ：3月）は、前年同月比4.6%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ イベントや旅行関連の広告需要がみられたものの、全体では前年を下回った。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2024 3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	6.1	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	4.2	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	64	▲ 15.0
3	▲ 0.3	P4.5	P5.2	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	P4.2	P4.2	-	21.2	2.1	20,078	41.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2024 3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	605	▲ 5.5	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	-	-	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7	
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3	
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9	
2024 3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4	
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7	
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1	
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	6.2	▲ 6.4	
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8	
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8	
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3	
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0	
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5	
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1	
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	54.8	28.4	26.2	25.4	▲ 0.7	
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	63.6	15.8	7.1	14.6	▲ 4.4	
3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲ 6.2	
4	865.8	15.1	267.3	68.2	P73.5	P63.8	P19.1	P8.8	16.8	P▲ 1.2	
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ						

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入	
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比	
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9	
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6	
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	▲ 0.2	
2024 3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.2	1.1	1.15	▲ 3.9	4.6	
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.7	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2	
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 0.4	
6	8	1,879	735.1	2.1	3.1	0.1	1.10	▲ 5.0	▲ 4.3	
7	4	1,099	647.6	3.1	3.2	2.0	1.11	▲ 5.1	▲ 2.9	
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7	
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.4	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6	
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.14	▲ 4.5	4.0	
11	4	287	20.1	3.6	3.2	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5	
12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 3.7	
2025 1	6	336	▲ 19.2	4.8	2.7	0.6	1.09	▲ 3.3	0.7	
2	2	98	▲ 37.6	4.5	2.1	0.4	1.08	▲ 10.0	3.6	
3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲ 10.2	3.1	
4	10	535	184.6	4.1	3.9	0.7	1.10	1.9	-	
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2024年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2024 3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	217	385	▲ 168	1.420	62,619	1.7	61,886	1.8	44,573	5.1
3	252	390	▲ 137	-	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	-	-	-	-	-	-	63,446	1.3	44,886	5.3
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	41,614	304,121
2024 3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	69.8	▲ 9.4	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	92.7	▲ 12.7	1,915	22,405
2	9,512	▲ 6.8	2,717	▲ 7.1	80.5	▲ 13.9	11,433	22,700
3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	-	-	1,975	21,291
出所	沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。